



う な ば ら 海原

題字河原孝好先生

海城中学高等学校同窓会誌

発行
2019年(令和元年)5月1日
第49号

海原会

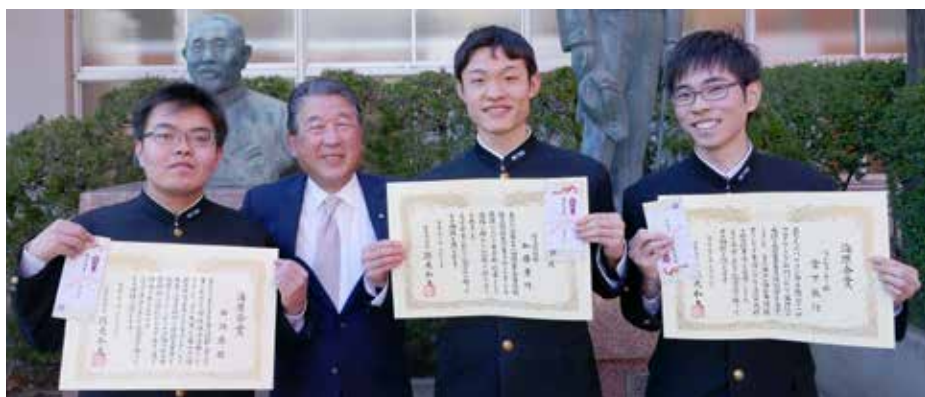
発行人 徳光和夫
編集責任者 小西洋也

〔海原会事務局〕

〒169-0072 東京都新宿区大久保 3-6-1 海城学園

TEL 03-6233-9631 FAX 03-6233-9641

ホームページ URL <http://www.unabarakai.jp>



左から 田淵君 加藤君 宮下君

田淵麻紘君
旺文社学芸サイエンスコンクールの第61回コンクール(2017年)の写真部門で環境問題をテーマにした「霞たなびくプランテーション」一台のトラックが向かう先は…」という題名の写真を応募して見事環境大臣賞を獲得しました。

加藤孝明君
陸上部で活動し、東京都高等学校陸上競技対抗選手権大会(2018年)の男子第三支部予選会400m決勝で1位、関東高等学校陸上競技大会の男子南関東400m予選1組6位の成績を収めました。競争が激しい陸上競技での特筆に値する好成績です。

宮下敦行君
コンピューター部で活動。第17回日本情報オリンピック(2018年)という情報科学の能力を競う大会で優秀賞を獲得しました。さらにプログラミング能力やアイデアを競うパソコン甲子園の大会では二年続けて4位、7位に入る成績を収めました。

海原会賞を 3名に授与

海原会賞は在学中特に勉学以外の分野で自主的な活動をして成果をあげてきた卒業生(新会員)を顕彰するという趣旨のもとに設けられた海原会の伝統ある賞です。毎年の卒業生の中からクラブ活動や様々な校外活動でユニークで優れた活動をして全国大会などでも高い評価をうけた生徒らを選定して賞状と副賞を授与しています。とりわけ学業レベルが全体的に高まっている近年においては、学業以外での評価をするこのような海原会賞の意義は高まっているといえるでしょう。例年は1、2名、グループに授与してきましたが、今年は3名。卒業式に徳光会長からそれぞれ表彰状と副賞を手渡しました。海原会ではこれからも後輩たちの自由で独創的な活動を応援してゆきます。

自主的で独創的な活動評価



第98回海原会総会・懇親会

日時 **6月8日(土)**
午後3時(午後2時受付開始)

場所 **海城学園講堂**

会費 **3,000円** 但し学生1,000円 新会員は無料

会費は当日現金にてお支払いください。

(振り込みではお受けできませんのでご注意ください)

同封の返信はがきにて**5月20日(月)**までに
出欠をお知らせください

総会では毎年学園を卒業してから20年以上の方々に記念品を贈呈しております この機会に同期会などお声掛け戴き総会にご参加ください

祝卒年表彰の対象者

- 祝卒業60年…**昭和34年卒** ■祝卒業30年…**平成元年卒**
- 祝卒業50年…**昭和44年卒** ■祝卒業20年…**平成11年卒**
- 祝卒業40年…**昭和54年卒**

皆さまお誘い合わせてご参加ください

※海原会は皆様の会費で運営されております。

平成30年度第2回常任幹事会

新年度役員の新再任案を承認 記念事業に向け新組織

年代の常任幹事者計40名が出席しました。議事は新規の常任幹事の紹介と承認、及び退会者の報告の後、今期で任期満了となる役員の再任および新再任案についての説明提案があり、全員の拍手をもって承認を得ました。平成31年4月からの新しい役員編成では多くの平成卒が加わる予定です。この後は各委員会からの報告があり、総務委員会からは6月の総会・懇親会の出席者が256名だったこと、また事業委員会からは秋に実施された「海原会サロン」、「見学会」、「ゴルフ大会」の各イベントがいずれも盛況だったとの報告がなされました。一方、8年近くに亘って続けてきたグッズ販売を今期をもって終了することが報告されました。最後に執行部から2年後に迫った海原会発足100周年に向けて記念事業などを検討する特別委員会を設立したことを報告、今後、広く常任幹事に協力を求めてゆくことを要請しました。その他、平成31年1月に行われる「成人を祝う会」の幹事である高澤一詩氏(平29)が挨拶、海原会の協力支援に対して感謝を述べました。



議事の後には昭和20年卒の岡和良さんの乾杯で懇親会。幅広い年代で語らい合い、最後は最若手の高澤さんの一本締めでお開きとなりました。次回常任幹事会は5月25日(土)に予定しています。各卒年の代表の幹事の方々は積極的にご参加ください。(広報委員会)

海原会役員の改選および組織変更

会長	徳光 和夫 (昭34再任)
副会長	池内 宏 (昭33再任・総務担当)
	森山 昭洋 (昭41再任)
	小西 洋也 (昭41再任・広報担当)
	国井 信男 (昭62再任・事業企画担当)
会計幹事	景山 昇一 (昭62新任)
	岡本 浩太郎 (平2再任)
監査幹事	大澤 英夫 (昭31新任)
	長沼 徳宏 (平4再任)
総務委員会	委員長 福島 賢哉 (昭41新任)
	副委員長 岡本 浩太郎 (平2新任)
	齊藤 亮輔 (平11新任)
事業企画委員会	委員長 石黒 淳一郎 (昭47新任)
サロン部会	部長 森山 昭洋 (昭41)
	副部長 片山 忠美 (昭28)
見学会部会	部長 杉山 紘千佳 (昭36)
	副部長 山本 満男 (昭27)
ゴルフ部会	部長 石黒 淳一郎 (昭47)
	副部長 荒尾 純平 (昭57)
ブランディング部会 (廃止)	
広報委員会	委員長 山田 雅康 (昭36再任)
	副委員長 杉山 紘千佳 (昭36再任)
会報部会	部長 小西 洋也 (昭41)
HP部会	部長 国井 信男 (昭62)
	副部長 岡本 浩太郎 (平2)
海原会設立100周年事業特別委員会	委員長 国井 信男 (昭62)
	副委員長 山田 英也 (昭58)
	高山 智司 (平1)

各部会の委員および常任幹事等に関しましては海原会ホームページをご覧ください。

海城吹奏楽団 定期演奏会

新しい風を感じる演奏

海原会も活動を支援している海城吹奏楽団の第26回定期演奏会が4月5日(東京・杉並)の杉並公会堂大ホールで開かれました。一年ごとに経験を積んだ先輩が去り、新たな人が加わって構成メンバーが変化する中でこのような演奏会を続けることは並大抵ではないでしょうが、その年ごとに違った色合いとなる演奏が鑑賞できるのも楽しみです。特に今回は58人の団員のうち20人が昨年入部した新人ということでもどんな演奏会になるかと思いましたが、全く不安を感じさせず全体にまとまって安定し落ち着いた素晴らしい演奏を披露してくれました。一年間の猛練習の成果ともいえるでしょうが、今の若い人たちの音楽的なレベルは、昔前とは比べ物にならないくらい上手くなっているように思えます。オープニングの「セドナ序曲」から最後のミュージカル「レ・ミゼラ



ブル」まで全曲熱のこもったまとまりのある演奏で聴きごたえがありました。全体に音楽と真剣に真面目に取り組んでいる姿が感じられ清々しい印象でした。(広報委員会)

お知らせ

海城吹奏楽団の第四回定期演奏会が5月5日(日)に新宿文化センター小ホールで行われます。

開場 13時30分 開演 14時

入場無料

海城吹奏楽団の次回第27回の定期演奏会は

2020年4月2日(木) なかのZERO大ホールで開かれます。

開場 17時30分 開演 18時

入場無料

皆さんお誘い合わせて後輩たちの演奏を応援してください。

成人を祝う会

平成29年卒の新成人 230人が母校に参集

去る1月13日、第124代成人式が開催され、卒業生の約7割に当たる230名ほどが参加しました。歓喜の中に節度あり。節目の行事としては申し分のないものとなりました。なお、実施にあたり、至らないところまみれの我々を支えてくださった先生方、そして海原会の諸先輩方にこの場を借りて厚く御礼申し上げます。

平成29年卒常任幹事 萩尾圭介

今年の新成人は平成29年に卒業を迎えたOBです。彼らは全員が中高一貫生で6年間を海城で過ごしています。そんな彼らが成人の日を迎えるのにふさわしい場所を考えると、やはり海城の校舎で、ということになるようです。今年も海原会は、今後の海原会活動を担う彼らの門出を祝し、開催を応援しました。式典には当時の担任・学年主任をはじめとする先生方と、海原会からは副会長が2名出席。式では初めに学年主任だった高津大輔先生が祝辞を述べられ、海原会の森山昭洋副会長が後に続きました。

共に青春時代を過ごした仲間ならではのアットホームな雰囲気の中、校歌斉唱で式典はお開き。カフェテリアに場所を移し懇親会となりました。(広報委員会)

第8回海原会ゴルフ大会



ゴルフ好き海城学園同窓会の皆様、大変お待たせしました。今年で早くも第8回を迎え、もう恒例となりました海原会ゴルフ会のご案内です。今回の大きな特長は「電車でGOです」。開催ゴルフ場は都心から近く、コースは平坦で距離も短く、好スコアが期待出来ます。生涯ベストスコアが出るかもしれないですよ。もう常連になっている徳光大先輩も勿論参加されます。真っ青な秋晴れの空の下、また一つ素敵な思い出を作りませんか？皆様の奮ってのご参加、お待ちしております。

大会実行委員長

昭和47年卒 石黒淳一郎

開催要項

ゴルフコース

西武園ゴルフ場

〒359-1133 埼玉県所沢市荒幡1464
TEL:04-2925-8111

開催日時

10月11日(金) 08:00集合

会費

プレー費 **17,065円**
参加費 **4,000円**

高齢者割引あり 受付で身分証明書提示

競技

新ペリア方式

クラブバス

西武新宿線西武園駅より到着ごと運行

申し込み方法

出欠はがき

会報に同封されている総会ハガキの下部にゴルフ大会参加申し込み欄があります。

FAX

03(6233)9641 (海原会ゴルフ会事務局 宛)

メール

海原会ホームページの「海原会へのお問い合わせ・ご連絡」から海原会ゴルフ会事務局宛へ送ってください
<http://www.unabarakai.jp>

申し込み締め切り 7月末日

見学会

新企画「変わる東京」を

水陸両用バスで、如何ですか

皆様お元気ですか。

海原見学会も今年で9回目を迎えます。

お陰さまで、毎回多数のご参加を頂きありがとうございます。

さて年が明けると、今年はどこに行こうか考えています。幹事一同悩むことしきりです。(笑)

例えば「水陸両用バス」を検討中ですが、「東京一周バス」も考えております。海原



参加者募集

会の行事の中で見学会はご存知のごとく、ご同伴で家族揃って参加できる交流会で他にはありません。今年も散歩気分、顔を合わせれば知ってる人ばかりです。そして、学生時代と同じように、同等の立場で人間関係を築くことができます。しがらみもなく、言いたいことも言えるようになります。そうして、晩年になって無一の親友を持つこともあるでしょう。そこで共通の価値観を持つ友人を見つかることができるでしょう。見学会はそういう場所だと思います。

見学会最後のコースは、みんなと一緒に美味しいものを食べて、ひと時を過ごしましょう。また、皆様のアイデアもお待ちしております。

(見学会世話人 昭和27年卒

山本満男)

ご案内告知は海原会のホームページ、海城祭海原会サロンなどでお知らせします。どうぞご期待ください。担当杉山まで。



予告 海原会サロン

9月14日(土)・15日(日)の2日間 「海城祭」期間中オープン

毎年15000人以上の来場者がある海城祭。海城の看板イベントの一つです。今年は9月14日

(土)・15日

(日)に開催されることになりました。

海原会では恒例となった海原会サロンを今年も開催する予定です。

昨年の海原会サロンでは海城の歴史・著名OBの紹介・歴代卒業アルバム展示等を行い、



2256人の方が来場されました。

OBが家族を連れてくる姿も多く、卒業アルバムにある「紅顔の美少年」時代のお父さんを見つけると「うそー!」との声。卒業アルバムは青春時代の証写真です。

その他にも、海原会サロンを集会場所にして、同窓で新大久保の繁華街に繰り出していくOBが多数。今年も皆様のご来場をお待ちしております。

(サロン副支配人 昭和62年卒 国井信男)

啓発運動に尽力 ハンセン病のオーソリティ

中嶋 弘 さん

なかじまひろし（昭和27年生）



10年前だったか、アルテトネヤ講演会で、前衛画壇の一人で、絵の具を使わない「鉛筆画家」と言われた画家がやってきた。どんな絵を描くかと言うと、鉛筆で細かい線や点で写真かと間違える程の絵で、それはリアルに描かれたハンセン病患者の肖像画なのです。彼曰く「僕が描きたいのは『らい患者』の肖像画ではない。生の深い淵から生きる力を描くことだ」と。この掘りどころから展開したい。

まさか。彼が…

「灯台下暗し」とはこの事かもしれない。老熟を迎えた中嶋弘さんは海原一七会同窓の仲間、学者肌の顔装でやって来た。仲間内では医師であることは知っているが、それ以上のことは誰にも知らないと思う。その余韻も忘れた頃、中嶋さんからレターパックが届いた。中身を開けると、布張りの上製本に金箔の文字で、「中嶋弘教授退職記念業績集」。

発行元は「横浜市立大学医学部皮膚科学教室」とあり、およそ二百頁に亘る彼のハンセン病などの退職記念業績集だ。

そうだったのか。まさか、彼が横浜市大

医学部の教授でハンセン病のオーソリティとは知らなかった。

思い出の業績

こんにち、「ハンセン病」と言う名称でいわれているが、それ以前は「らい」と呼ばれていた。

中嶋さんはこう記している。

「特に思い出されるのは、平成7年『第68回日本らい学会』を横浜で開催し、その際『らい予防法に対する学会の見解』を公表したことです。翌日これが朝日新聞のトップ記事となり話題となった。」「これを契機に厚生省は一気に動き出し、翌8年には『らい予防法』を廃止し、医師ならだれでも診断・治療のできる普通の感染症とした。そして患者の意向を尊重して『らい』を『ハンセン病』と法的に改名した。」と言う。

偏見と差別

しかし、その根源にあるものは、「らい」患者の隔離政策にあり、これが医学的と言うより、むしろ「偏見と差別」という人権問題にあるという。隔離政策とは患者を強制的に療養所に収容したことで、その結果

患者は家族親戚からも断絶され、一生を終えることになる。今は解放されてはいるものの、多くは高齢者になり、帰るところは療養所しかないという。いま全国に10数か所あるという。尚、国立ハンセン病資料館が東村山市にあつて、その全貌が展示されているとか。

謝罪と啓発運動

中嶋さんの功績はこれからが大変で「ハンセン病診断・治療指針（厚生省）」を編集し全国の医師に配布し、治療薬を厚生省の一括買い上げから一般の医師でも使用可能な健康保険適応に変更し、「偏見と差別」に荷担した学会としての責任を患者に謝罪し、更に一般市民との交流が大切であると考え、啓発運動にも尽力した。

これらは法律に関する重大問題なので、国・学会・患者を始めとする多くの協力者と共になされたもので、「私個人としては微力ながら、ハンセン病学会を代表して尽力した」と述べている。

メッセージ

もはや、ハンセン病はほとんどの人の記憶

に興味になる。

2020年に東京で開かれるパラリンピックのことを思えば、スポーツは体が万全な人だけのものではないことは一目瞭然。パラの競技種目ではないものの障がい者のゴルフ大会は存在し、今年からは世界ランクも発表される。しかし、障がい者のゴルフを教えるプロが日本にはいないのだ。ならば、自分が最初の人になろう。梶さんはそう考えた。17年前にベトナムでゴルフを教える最初の人になったのと同じ。まさにフロンティア精神だ。

障がい者ゴルフのレッスンは受講者の自宅で行う。本人は好きなことでリハビリができ、

われら 海城人

障がい者に教える ゴルフのレッスンプロ

梶 宏光 さん

かじひろみつ（昭和37年生）

梶さんは、昨年末、長年住んでいたベトナムから帰国し生活の拠点をベトナムから日本に移した。ベトナムではプロゴルフの草分けとして17年。延べ3万人にレッスンをし、うち2人をプロにした。

23歳でプロテストに合格

海城では持ち前の身体能力で体育や運動会で活躍したが、どの運動部にも所属していなかった。ゴルフとの出会いは高校時代に小金井カントリーでアルバイトをしたことに始まる。

昭和37年に海城を卒業後、武蔵工業大学に合格したものの大学には行かず研修生と

にさしかかっている。

梶さんは障がい者ゴルフだけでなく、以下の場所でも通常のレッスンも行っている。

★府中スポーツガーデン（府中市押立町）

★民家園ビッグゴルフ（川崎市多摩区東生田）
レッスンは最新の機器を使い、自分のスイングが全て数値化されるデジタルレッスン。全て個人レッスンで50分で通常5000円のところ、海城OBに限り3000円となる。興味のある方は以下のメアドに連絡をしてみてはいかがだろうか。
golf.lesson.hkaji@gmail.com
（岡本浩太郎 記）



から消失されつづけていると思う。先頃、天皇陛下の在位30年記念式典の際に、陛下の強い印象としてハンセン病患者を訪問した事が話題になった。

中嶋さんは、ハンセン病に対する認識の変化にある種の安堵感を覚えたに違いない。そして彼は海城出身の方々も、平成の年号が変わろうとする今、日本の人権問題の原点となった「らい予防法」について、関心を持ち続けて欲しいと考えている。

今、中嶋さんは箱根外輪山の懷に隠棲しているが、地元の病院でなお頑張っている。

（山本満男記）



アスリート支える スポーツ弁護士

堀口雅則さん

ほりぐち まさのり (平成9年卒)



なった。23才でプロテスト合格し小金井カントリークラブに所属した。ツアープロとしてこれから、というある日、交通事故で大けがをし競技者生命を絶たれてしまう。25才のときだった。

その後、ライセンスを返上し、サラリーマンとして社会人生活を送りながらアマチュアとしてゴルフは続けた。クラブチャンピオン(そのゴルフ場のチャンピオン)を6回取った。

レッスンプロ資格取得

50才を過ぎたころ、再び転機が訪れる。

マンションの管理組合の代理人など、不動産関係の仕事を得意とする弁護士堀口雅則さん。彼にはもう一つの顔がある。彼はアスリートたちの未来を支える「スポーツローヤー」だったのだ！

各プロ競技の多くには選手会がある。それらの中で、堀口さんは日本バスケットボール選手会と日本ラグビーフットボール協会の担当弁護士をしている。

個人トラブルから国際交渉まで

スポーツローヤーの仕事で思い浮かぶのはなんだろうか。不法行為や交通事故など選手の法律トラブル、マスコミ対応……。そういったことも仕事のうちではあるのだが、もっと大きな仕事がある。それがスポーツローヤーにはある。

例えば、選手会と協会との協議の立ち会い。協議では競技のルール改定やリーグのスケジュール調整が行われるのだが、スポーツがグローバル化した現在、国内の選手とリーグだけで決められる問題ではなくなっている。

ラグビーを例に出すと、今年ラグビーW杯が日本で開催

組んでいる。それは障がい者のゴルフだ。

障がい者のためのゴルフ

高齢化社会を迎え、若いころは健康であつても怪我や病気で体をこわしてゴルフができなくなった人がいる。リハビリは大切とはいけれど、毎日与えられたメニューをこなすのは辛い。しかし、与えられたものでなく、自分がやりたいゴルフならどうだろう。再びティーグラウンドに立つことを目標に、ゴルフの練習をすることでリハビリとする。そう考えるならば辛いリハビリは楽しい。

されるので、日程調整が必要となる。また、2022年から日本を含む有力12か国が毎年優勝を争う「ネーションズチャンピオンシップ」が開催される。現在は年に1〜2試合程度の国際試合が10試合程度に増えるが、それでも調整が必要になる。ルールにしても、日本独自というわけにはいかない。

先日、堀口さんはアイルランドのダブリンで開催されたIRB Aラグビーの国際選手会の会議に出席した。世界のラグビーの大切なことはここで決まるので、日本のラグビー選手が安心してプレーできる環境を作るには、この会議で世界に日本の意見を伝えるしかない。それもスポーツローヤーの仕事だ。

「日本のプロ競技はアジアでも整っている方です。今、きちんとして世界に発信して、日本をアジアの代表に押し上げていきたい」

この1年、堀口さんは米国、NZと世界中を飛び回っている。

海城プロレスの人気スター

そんな堀口さんはバスケットやラグビーの選手と並んでも引けを取らない体格の持ち主である。高校時代は何をしていたのかというと、水泳・テニス・新聞・囲碁将棋・アミ研といういろいろな部活に顔を出していたが、一番力を入れていたのは、80〜90年代の海城祭

奥さんは介護からその時間は解放されるとメリットが大きい。デメリットとしては最大でも1日4人までしか教えることができます。堀さんの力だけでは多くの人をゴルフの世界へ戻してあげられないことだろうか。

後半9ホールの心境

「私の今の心境はSunday back 9です」と堀さんは言う。木曜日から行われるゴルフ競技の最終日、日曜日の後半9ホールのことで、一番大事な残りの部分を意味する。堀さんのゴルフ人生は最も輝く集大成

の花形、海城プロレスであつたという。

当時、丸刈りだったので、高1のときのリングネームは「和尚」。高2で「スーパー和尚」、高3では「ハイパー和尚」として活躍した。司法研修生のときに、修習生の同期に海城出身であることを告げたところ、「海プロの和尚さんではないですか？ファンでした！」と言われたというから、人気のほどがわかる。

ラグビー人気陰で支える

海城プロレスをきっかけにスポーツローヤーを目指したのでは？という無茶振りな問いかけには、当然ながらあつさりNO。最初は政治家を目指したのだが、政治をつかさどる法律を学ばなければと思い立ち法律を学んだら弁護士になつてしまつたのだという。弁護士としてスポーツに関わるようになったのは所属する事務所がスポーツに関わつてい

「裏方です。スポーツローヤーはアスリートが世界に繋がる扉なんだと思つてます」との答え。

アスリートの面倒を丸ごと見ていくその姿は、落語に出てくる面倒見の良い長屋の大家がご隠居か寺の和尚のようにも思えた。そうか、和尚か。海プロの和尚は、スポーツ界の和尚なのかもしれない。

(国井信男 記)



安心できる仕組みを作る

もう1つは選手のセカンドキャリアのケア。どんなアスリートもいつか現役を引退する。日本ではアスリートを顔が売れているからと営業に採用する傾向があるが、適性が無ければ続かない。世界的には現役時代からキャリアアカウンセリングをして引退後に備えている。日本で安心してスポーツに打ち込み引退できる仕組みを堀口さんは目指している。

「堀口さんのしていることは、ドラマにある法廷で戦う弁護士の印象とは違いますが、？」と水を向けると

グラウンドに眠る歴史考Ⅳ

現在のグラウンドは元は海城のものではなく、太平洋戦争で焼け放置されていた学校跡地を、昭和二十四年に25歳の若き理事古賀博が難交渉の末取得した土地である。前稿ではその戦前にあった善隣高等商業と海城との関わりについて調べる中で、昭和十年代に海城で使われていた原稿用紙が『文具のヤナギヤ』、柳屋製であったことがわかった。今回は柳屋製原稿用紙が愛知県でも使われた形跡を紹介する。

柳屋「おばば」

昭和二年に海城が震が関から戸山ヶ原へ移転してきたころ、学校の敷地は現在の前庭を囲んだ校舎の範囲であった。四号館や理科館の部分もよその土地で、北海道学徒援護会の学生寮があつて、当時はそこと海城との間は道路で隔てられていた。

海城の中に『文具のヤナギヤ』の支店ができたのがいつか記録を確かめていないが

写真は昭和46年のおばば（内田直枝さん）と左に写っているのがお父様である。なぜ「文具のヤナギヤ」が「おばば」として生徒に親しまれるのか？それはおそらく物を

買う「お金を使う機会であり生徒にとって学校が閉じられた世界であるのに対し、校門の外の実社会に触れる場であるからではないだろうか。子どもの生き生きとした表情から伺われる。

柳屋製原稿用紙が愛知にも

前稿では、昭和十年代に学校が毎年文部省に提出する公式文書に用いられた原稿用紙に「柳屋製」という刻印を見つけ、当時

はそのほかに校舎の整備その他役所への届け出書類に柳屋製原稿用紙が使われていたことをお伝えした。実はこの海城で使われた原稿用紙と同じものが同じころ名古屋の愛知県庁にも提出されていた。左隅に百人町柳屋製と印字されており昭和19年から22年にまたいで書かれたものだ。内容は豊橋盲啞学校という私学が愛知県に学校および土地建物を持ち、県営に移管する証明書である。筆者は別件で調査をしているときこの文書を見つけ、海城へ行っておばばに見てもらったところ「これは父が作っていた原稿用紙だわ」と戦前に柳屋で作られた紙であることを証言してくれた。

大久保から豊橋へ

なぜ愛知県にある学校で柳屋の原稿用紙が使われたのか調べてみると、この豊橋盲啞学校の経営者が戦前戸山小学校の裏に住んでいたことがわかった。

柳屋製原稿用紙（下）

平成5年卒 高橋有仁

現在のように障がい児の教育制度が整っていない時代、盲学校や聾学校は生徒が少数でありましてや私立では学費徴収だけでは学校経営が成り立たないため地元企業が出資するケースが多かった。

豊橋盲啞学校も経営は厳しく大正の半ばに地元企業高橋小十郎商店が経営を引き継いだ。小十郎は子どもを東京で学ばせる方針で妻子を淀橋区百人町に住まわせたのだ。写真の文書を書いたのは息子の和彦で、大学卒業後豊橋へ移り寄宿舎で生徒と寝起きしながら英語講師をする。

ところが昭和15年に火災で校舎が焼失、翌16年はこの地域では頻発する竜巻の直撃を受け校舎が倒壊してしまう。この間和彦は中国へ教員として派遣されていたが小十郎が他界し帰国、自身は別の勤めに出



ながら学校を引き継ぐが現在のよう災害給付金の無い時代もはや一企業では支えられないと判断し近隣の私学に譲渡交渉を行うも自身の再招集が決まった。

そこで校長熊谷源次郎と豊橋市長近藤寿市郎が愛知県庁に県立移管すべく奔走し、和彦が5月31日付で書いたのがこの大久保から疎開するときに持ってきた柳屋の原稿用紙であった。

バントタッチの日付

字体見ると賣買契約日時（昭和拾九年五月）+ 縣營移行日時（昭和貳拾年四月）



ありし日の高橋小十郎・和彦両先生の係
（昭和13年3月 第36回卒業記念 鍵田町校舎時代）



3日後和彦は出征先のボルネオで戦死、熊谷も焼ける校舎から教師たち手作りの教材を運び出した疲労で一年後に病死した。和彦が書き、内山が運び出した柳屋製原稿用紙に愛知県知事桑原幹根が署名したのは昭和22年1月であった。

柳屋の原稿用紙は海城との深い関係にとどまらず使われた先の学校で歴史の証人であった。愛知県立豊橋聾学校は昨年創立百二十周年を迎えている。

参考文献：海城百年史、海城祭プログラム（1988年）、愛知県立豊橋聾学校八十年史、内山武志著「道はるか私の愛百五十年」（1997年）

はその日に書いているが、譲受人登記日時は戦後書き加えられている。また紙の中央が燃えて失われているのは、昭和20年6月の豊橋空襲で焦げたことによる。この時学校にいた盲部の青年教師内山武志は元卒業生で、寄宿舎で和彦とともに過ごしておりこの愛知県の売買証明書が校内に保管されていることを知っていた。空襲のサイレンが鳴るや重要書類を入れた箱を持ち出したときのものである。

現在のカンボジア・プノンペンでは東京よりもレクサス、レンジローバー比率は高く、スマホの普及率も日本を遥かに追い越し、アプリでタクシーを呼ぶのも普通で、毎月のように高層ビルが増えています。プノンペンで育った20代のカンボジア人は虐殺・内戦や地雷より、成長し続ける都市を感じて育っています。私自身も2013年の初訪問でショックを受けて以来、正に高度成長期のカンボジアを感じています。この成長の波に乗れば様々な可能性があると感じ、私は今、カンボジアと日本を結ぶ広告代理店や企業の進出支援等いくつかの事業を仕掛けています。

今のカンボジアでは、土地、住宅産業、人材関連など、あらゆる産業が急拡大しています。特にウニティング産業やフィットネス事業などは今後の急成長が見込まれる分野です。給料は毎年上がり、ローンが組める時代になりました。国民の平均年齢23・9歳という国家ですので、知り合う現地の社長達は20・30代というケースも多いです。しかも日本人以上に意欲的で働き者です。弊社のイベントで若いカンボジア人スタッフに手伝って貰った時の話です。イベント

はとにかく計画通りに行かないもので、予期せぬ事態が次々と起こります。そのような状況の中、スタッフ達は忙しきよつて自分達で休憩時間を組み直したり、短くしたり、忙しいブーには人を多く割り当てましょうと提案してくれたり、大変な活躍をしてくれました。私は日本でも広告代理業でイベントも行

カンボジアの 高度成長期を体感

昭和55年卒 北野 岳

いますが、今の日本なら何故予定通りに休憩に入れないのか、忙しさが違うのにフリーは一緒なのかと逆にクレームになる状況です。優秀で個性的な海城卒業生の方々は、ぜひ我々とカンボジアで事業に絡んで頂き、人口・GDPの減り続ける日本の為にもなるような力を発揮して欲しいと思います。仕事ばかりではありません。カンボジアは優雅なセ

ミリアアをしたたい大先輩方にもビッターです。日本はある意味で究極まで効率や細かな技術を突き詰めて来ました。もちろんその点は日本の良さなのですが、その一方で余裕を持つ事、一息つく事、遊び心を持つ事を忘れていく気がします。生涯現役も一つの生き方ですが、敢えてリタイアし、知識や私財をこれから無限の可能性を秘めた人々に役立てて貰うのも大変意義のある生き方だと思っています。夕暮

れのリバーサイドのカフェではアンコールビールを飲みながら、毎晩心地良い風が通ります！もうひとつ忘れてはならないのはカンボジアには



何とカンボジア在住25年という海城の仲間がいます。小市琢磨さん（平成5年卒）がその人で、カンボジア日本人会会長を務め、ジェットロのアドバイザーや食品関係事業など多数の肩書を持つ「重鎮」です。カンボジアに関心のある方はぜひ連絡ください。



中国の上海市で、現地のテレビ番組制作会社で仕事をしています。上海は、大都会でありながら、プロチームも使用するサッ

上海在住15年 TV番組制作通じ日中交流

昭和59年卒 新山 浩康

ます。住み始めて15年が過ぎました。上海はやはり発展のスピードが目まぐるしく、今住んでいるエリアも、同じ場所とは思えないほど街並みが変わりました。以前はいろいろ不便に感じた買い物も、最近はずりです。上海在住15年 TV番組制作通じ日中交流

今の仕事は、幼児向けと、シニア向けという、テレビ番組の制作と、その周辺事業に携わっています。最近若者のテレビ離れが進んでいますが、中国では子どもとシニア世代には、まだまだテレビが人気のようです。幼児番組は、日本のテレビ局から番組の版權をお預かりし、中国版にローカライズして、中国全国で放映しています。放映開始から2年足らずですが、番組イベントや舞台劇では、チケットが、あつという間に完売するようになりました。似たような番組が中国にもあるのですが、クオリティの差が歴然で、改めて日本の幼児番組のクオリティの高さを実感します。

シニア向け、という幅が広いのですが、我々の番組は、定年退職してまもない、バリバリ元気な方を対象としています。上海現地制作のバラエティー番組で、番組SNSアカウントには、上海の60歳以上の6人に1人がフォローしてくれるようになります。だいぶ浸透してき

ました。番組イベントを毎週開催したり、視聴者向けに、旅行ツアーや商品の販売などもしています。中国製品や中国国内旅行の販売が中心ですが、最近では、日本製品や訪日ツアーも取り扱い始め、いずれも人気を集めています。

番組イベントの来場者とお話すると、日本の大ファンが多く、私が日本人と分かると、定番の観光地はもう飽きた、あまり知られていない面白いところはないかといった、質問をよく受けます。とはいえ、上海のみならずの方が、私よりずっと日本に詳しく、少々きまりが悪いのですが、それほど日本に関心を持ってくれる方が大勢いらっしゃることを、うれしく感じます。上海は、在留邦人が多く、海原会でもお住まいの方が、いらつしやるかと思えます。一度、集まるとうれいすね。お気軽にご連絡いただければ幸いです（miniyama@163.com）。

♪映画音楽と古き良き時代のジャズを聴く

「粋に・洒落つ氣と、魅力あるあなたに贈るひと時」

青春時代、大人になった気分で、多分今



日はいいことありそうな予感がしたりして……そんなわが青春時代の雰囲気、良い仲間と語り合い……なんとなくいいじゃないですか。紫煙煙る中で、スコッチか、はたまた、バーボンを飲みながらデュークエリントンの曲に乗せ意気のあつたジャズを聴く時代があつた。

昭和30年代、焼け跡から日本の国柄が変

もう一度青春時代 ジャズクラリネットの吉本さん

昭和27年卒 山本満男

中でも
アメリカ

カ映画はブロードウェイのリズムミカルな音楽に乗って煌びやかな歌や踊り、まばゆいほどのショウにうっとり興奮した覚えがある。この頃、海外からミュージシャンが続々と来日した。ジャズはこの辺から浸透したと思う。歓楽街は歌声喫茶、名曲喫茶、翌年にはロックンロールがブームに、まだテレビがない時代。

♪座・高田寺…

「カフェ・アンリファール」にて

ライブハウスと想っていたが、区の公共施設で「ザ・コウエンジ」だと思つたら「座・高田寺」という名称で杉並の文化拠点になっている。多目的ホールと言うことか。それにしても広いフロントロビー、緩やかなスロー階段。この2階に「カフェ・アンリファール」というカフェレスト

ランがある。洒落つ氣のある建物自体ワクワク感があつて、なかなかいい空間だ。建築家の伊東豊雄氏の設計という。日本建築学会賞・デザイン賞など取つた人だ。時間が経つにつれ、36会の連中が応援に集まつた。お客は80人位かなあ。

♪毎月第3（金） ボランティア演奏活動

予め申し合わせておいたが、吉本泰一郎さん

んと同期の滝本氏が肩代わりでガイダンスで対応してくれた。



吉本泰一郎さんは海城時代15、6才からクラリネットを勉強、立教大学に進み本格化、徳さんとは同じ立教だからなじみがあるとか。現在は化学薬品の業務に従事いまお現役だそう。そしてジャズライブを通して実績を積み、依頼があれば、どこにでも出張して（勿論ボランティア）で、ライブを開きたいとユメをもっている。演奏に熱が入ってきた。彼はクラリネット奏者で、バンドマスターと言うことか。今回は彼のクラリネットと、ピアノ・ベース・ドラムの演奏に足で調子を取ったり、それこそア・ンの呼吸で演奏が盛り上がり、喝采の連続だ。ジャズそれは自由そのものだ。



新理科館の建設にともない、いよいよ3号館が解体されます。私が海城中学校に入学した昭和60年当時、中学は4クラス編成で3号館の1階が中1、2階が中2、3階に中3が入っている中学の棟でした。

歴史ある荘厳な本館を両脇から守るように今とは異なるL字型をした3号館（写真①）と5号館（現在の1号館）が建っていました。3つの校舎に囲まれた前庭はテニスコートとしても使われており、中学軟式テニス部員だった私は3号館とその前にあるテニスコートで3年間を過ごしました。

ありがとう、3号館

法人事務局・入試広報室

塩田 眞一郎

（平成33年卒）

そして、元号も世紀も変わった2008（平成20）年、前庭の改修工事によって3号館

う。3号館は1958（昭和33）年に竣工され、当初は今とかなじような直線状の校舎でした（写真②）。ほどなく生徒数の増加にともない1962（昭和37）年には増築されL字型の校舎となりました。このとき3号館の隣にあった図書館はコロの上を移動し、校門右に向きを変えました（写真③）。

私にとって3号館はもうひとつ思い出深い校舎です。那須高原海城中学校・高等学校が東日本大震災で被災し避難を余儀なくされたとき、この3号館を急遽借りて5月から学校を再開、3月まで那須高原海城の校舎として使用しました。約120名の生徒が安心して学習できる環境が確保できたときの安堵感と感謝の念は今でも忘れません。生徒として那須海城の教員としてお世話

永年会費納入者

（敬称略）

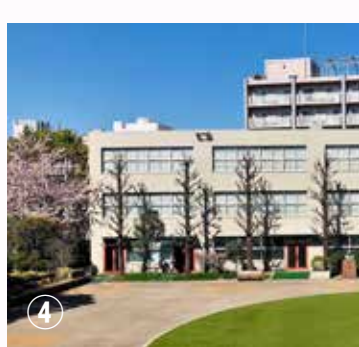
昭和63	常山 修治	昭和31	高田 茂樹	昭和47	西見雄一郎	平成01	樋沼 一雄	平成27	前田 直樹	平成30	赤井 亮大	昭和51	植木 伸彦	昭和63	山下 顕	平成29	森本 慶也	平成23	杉山 達哉	平成26	中島 隼人	平成29	齊藤 朝昌	昭和53	中村 浩	平成30	小林 太郎	平成30	松本 陸	平成04	江尻 俊章	昭和58	甲嶋 裕二	平成30	志田 俊平	平成04	川上 英思	昭和39	倉田 保昭	平成30	井上 裕貴	昭和51	日向 寺朗	平成30	川上 遼大	昭和41	長田 泰範	昭和53	八木澤龍馬	昭和34	吉荒 栄一	平成10	五十嵐太郎	平成02	富田 修一	平成28	匿名希望	平成25	匿名希望	昭和63年卒一同	
------	-------	------	-------	------	-------	------	-------	------	-------	------	-------	------	-------	------	------	------	-------	------	-------	------	-------	------	-------	------	------	------	-------	------	------	------	-------	------	-------	------	-------	------	-------	------	-------	------	-------	------	-------	------	-------	------	-------	------	-------	------	-------	------	-------	------	-------	------	------	------	------	----------	--

平成30年12月から平成31年3月まで（受領日順）

永年会費を納入されている方にも、封入作業の都合で、会費の振込用紙が同封されていますが、ご了承ください。

寄付

業種別分科会四団体
（八万八千八百円）



「内堀勝敏先生感謝の会」



体育科教諭及び剣道部顧問として海城学園に43年間奉職された内堀勝敏先生がこの3月

で定年退職を迎えられました。

そこで2月16日に「内堀先生感謝の会」を開催し、内堀先生が担当した学年である平成3年卒と平成9年卒、そして剣道部のOBなど総勢88名がカフェテリアに集いました。

「名物先生」の送別に ジャカルタからも参加

て、東日本大震災が起きたま

「感謝の会」の前に「稽古会」もおこない、内堀先生が最初に指導した昭和53年卒から昨春卒業したばかりの平成30年卒まで幅広い世代が参加し、懐かしい顔ぶれとの再会に先生もとても嬉しそうでした。

また、内堀先生が最初に担任を受け持った平成3年卒の参加者のなかには、この会のためにジャカルタから帰国し空港から直接駆けつけた強者もいました。

かくいう私も中学3年・高校2・3年と3年間、内堀クラスでした。振り返ると、

当時まだ30代だったウッチーは血気盛んで、今ではあり得ないような、決してここには書けないような破天荒なエピソードばかりが思い出されますが（笑）、本当は生徒一人ひとりのことを親身になって考えてくれる優しい先生でした。だからこそこれだけ多くの卒業生が先生に感謝の気持ちを伝えたいと集まったのだと思います。

私は内堀先生のそうした姿を見ていて中学3年生のときに教師になろうと心に決めました。ところが、念願の教師となつて那須海城に勤めてからというものの海城に顔を出しても先生からはいつも厳しいことばかり言われ、正直めげることもありました。

被災した那須海城の生徒たちは海城の3号館を借りて授業を再開することになり、私は正門前に内堀先生と一緒に立ち、登校する海城生・那須海城生を迎えるのが朝の日課でした。そして1年を終えようとしたある日の朝、先生がぼそっと私に「出藍の誉れだ」と仰つたのです。私は一瞬、聞き違えたかと思いましたが、先生もそんなこと言っていないと言われるかもしれません。でも確かに聞いた先生のその言葉は、閉校までつづく長く険しい道のりを乗り越えていくうえ

で大きな支えとなりました。

昭和から平成にかけて海城一筋で教鞭をとられた名物先生が平成最後の年に去られるというのも感慨深いものがあります。剣道界のレジェンドでもある内堀先生、どうぞ第二の人生もウッチーらしく楽しんでください。本当にありがとうございました。

（平成3年卒 塩田顕二郎 記）



訃報

謹んでご冥福を
お祈り申し上げます

昭和12	山本 卓郎	22・8・17	昭和35	小林 久夫	29・9
昭和15	丸山 駿		昭和37	西村 康彦	30・2・13
昭和16	黒澤 保男	29	昭和40	小池 典夫	31・3・9
昭和16	黒田 弘毅	30・7・15	昭和41	西山 隆司	27・3・2
昭和17	伊藤準之助	29・4	昭和49	内藤 文夫	29・12・9
昭和20	長澤 憲衛	27・9・23	昭和52	中村 一八	30・12・18
昭和28	中里 義郎	30・5・4	昭和57	室谷 英仁	30・10・29
昭和28	大塚富士雄	29・6・27	教員		
昭和28	百瀬 恒	30・8・28	冨田圭 土屋 行雄	29・12・15	
昭和31	小泉 重男	28・8・4	昭和27年4月〜平成5年3月勤務		
昭和31	宮下 明久		塾科主任 伊藤 哲夫	30・10	
昭和32	松岡 征治	30・12・30	昭和37年4月〜平成10年3月勤務		
昭和33	鎌田 隆	26・2	校長 奥山 稔	31・1・8	
昭和33	前田 昌則	31・2・2	昭和62年4月〜平成4年3月勤務		

追悼 伊藤哲夫先生



昭和37年4月から平成10年3月まで本学で活躍されました。本校の、いわば黎明期に、存分に手腕を発揮され、本校躍進に多大な貢献をされましたことは大書特筆されるところです。

先生は実に37年の長きに渡り、本校の教育にご尽力されました。ここに生前のご厚誼を深謝し、謹んで皆様にご通知申し上げます。

ご在職中は、数学科主任、学習指導部（数学科主任 川崎真澄）

になった3号館がなくなるのは寂しいですが、新理科館の誕生によって校門をくぐったときの雰囲気も一新され、海城の教育も次なるステージへと進むことでしょう。新理科館は2021年夏の完成が予定されています。楽しみですね。

同期会 クラス会 だより



昭和27年卒 37 会の皆様へ 「俺も海城だ」

お元気ですか。昨年10月の同期会にご参加頂き有難うございました。私たち同期と言っても、疎開から戻ってきて、やり直して入った方は2・3歳違います。つまり、学年は同じでも、



年齢はちがいます。いづれにせよ、米寿かそれに近い方もおります。そんなことはどっちでもいいです。要は元気がどうかです。それで元気な内に、集まる機会を作りたと思っています。例えば2・3人でも、「毎月第3土曜日」にとか、元気なうちにですよ。気の向くままに参加すること。いま検討中です。連絡します。(山本満男)

昭和32年卒 KG-CLASS 祝傘寿！新年会

我々が還暦を迎えた20年前から、正月の第2金曜日に、吉祥寺にある同級生の藤原亀吉君が経営する「ピザハウス・トニー」で新年会が開催される。今年も藤原亀吉君



のご厚意で1月11日に開催された。「青春時代の、あの当時に語り合えるひと時として」と、幹事の一人、西尾勝治君の言葉だが、残念ながらも同時に幹事をしていた松岡征治君が12月30日に亡くなりました。とても残念です。会は「松岡君を偲ぶ会」になつてしまいましたが、遺影の前で献杯をしてお互いに体をつげようと語り合つた。思い返せば、かつては31名が出席して、店一杯になったが、今年は11名に減つてしまった。寂しくなつた。あと何年続けられるか判らなくなつた。(佐藤光司)

写真(左から)佐藤光司、坂下泉、島村欣也、西尾勝治、和田昇三、山下祐司、牛込壮造、大場健一、藤原亀吉、秋田博、上条克巳

昭和30年卒 海城中学校A組クラス会 卒業67年 古き良き時代

私達は昭和27年に海城中学校に入學しました。三年間田中鉄夫先生の担任のも

とで多感な中学生生活を送りました。当時中学は二クラスしかなくおとなしくて成績優秀なB組に比べ我がA組は悪ガキばかりでした。しかし田中先生の厳しい指導のおかげでクラス全体のもとまりは良く、陰湿ないじめもなく仲間意識にあふれた素晴らしいクラスでした。

去る1月16日池袋「美濃吉」にて久しぶりにクラス会を開催しました。前回田中先生がご出席になられたのでおそらく昭和年代だったと思われまふ。卒業時50名位は在席していましたが、谷口(旧姓金子)持田両君のご努力の結果、20名のメンバーと連絡がつきました。亡くなられた方が10名、連絡先不明の方が20名近くおりました。連絡がついた中でも体調不良の方、都合の悪い方もおりました。

当日の出席は幹事の谷口、持田、萩原、豊島君、仙台から駆けつけた熊谷君、久しぶりの葉山君と加藤の七名でした。少し少ないが卒業67年もたてば仕方ないでしょう。会場は同期の水竹君の紹介の京懐石のお店で和室の静かな部屋で、懐かしさに日頃は控えているお酒の杯を重ねる者もいました。



今だから話せる当時の愚ふざけ？、古き良き時代の楽しかった思い出に話はずきませんでした。次回の再会を約束して閉会致しました。(昭和33年卒 加藤清治)

昭和36年卒 海城36会 新春の明治神宮で喜寿を祈願

1月17日(木)、有志23人が明治神宮で初詣を行い、併せて喜寿を迎えるの祈願をしました。この日の企画は、明治神宮崇敬会の世話人をして36会副会長、重武茂任君の発案によるもの。会社祈願、商売繁盛、合格祈願、家内安全とお願いする側の目的は多種多様ですが、36会のような同窓会が企画して、明治神宮での祈願するのは珍しいとのこと。

まず一同、会長の山田雅康君を先頭に本殿で榊の玉串を奉納してお祓い受けた後、



回廊を通過して神楽殿に移動し、160畳敷きの広い「願主席」に着席。腹に響く大太鼓を合図に御祈願祭がスタート。工事安全、良縁祈願などと並んで喜寿の祈願を受けました。次いで白とオレンジを基調とする華やかな舞楽装束をまとった二人の巫女が登場。雅楽の楽器で古式豊かな竜笛、篳篥(ひちりき)、そして歌に合わせて日本古来の大和舞を奉納し、ご祈願は終わりました。

「ややこしい話とは関係なく、年に一回、厳かな空気に触れるのも悪くないね」心が洗われた気がする」というのが一同の感想。「創建100年を控え、崇敬会に参加したければ明治神宮の奥深さをより深く知ることが出来るよ」とは重武君ですが、「来年も企画して、36会としての行事を継続させたらどうか」ということで全員の見解は一致しました。

とはいえそれから36会の融通無碍なところ。一転、場をお馴染みの四谷・長崎県産業支援センターに移し、酒肴は各自調達の新年会と相成りました。(瀧本喬)

昭和37年卒 37(皆)の会 同期の画廊見学



3月16日、37年卒の「37(皆)の会」のメンバーが驚田さんの発案で、37の会代々木上原分会としてやれ込んで代々木上原の藤堂さんの自宅兼画廊を尋ねました。少し前に西山さんの新工場を皆でお

尋ねた際、まとまったお話しのように佐藤にもお誘いがあり参加しました。私を除いては時々お会いしていたようですが私はなんと57年ぶりでご挨拶されても俄に思い出せませんでした。途中堀さんが体調不良で引き上げられましたが、駅前の藤堂さん行きつけの粋な蕎麦店で藤堂、鶴田、福地、西山、鷺田、佐藤の6名でまさに旧交を温めて楽しいひとときを過ごしました。(佐藤誠一)

昭和39年卒 <39会 同期会> 戊成年男で忘年会



平成30年11月26日、田町「湯浅」でささやかに忘年会同期会を開きました。参加者は戊年4名72歳年男でした。現役の宇さん貿易会社経営で後継者が見つかり来年は遊ぶぞ!船会社勤務の丹羽さんはヨットレース

開催致しました。同期32名が集まり、在学中大変お世話になった飯塚先生、大澤先生、半澤先生にご出席頂き在学中の思い出話や先生とのエピソード等々で大いに盛り上がり、まるで学生時代に帰った様な楽しい時間を過ごし旧交を深める事が出来ました。

これを機にこれから迎えるであろう「喜寿」「傘寿」「米寿」出来れば人生100年時代と云う事で「白寿」迄おめでたい節目節目でこの様な会が開けたらと思います。

閉会にあたり再会を誓い卒業以来52年振りに参加者全員で校歌を斉唱して散会致しました。(若菜茂樹)



昭和43年卒 6年8組同窓会 進邦先生迎え毎年開催

平成30年11月7日に幹事稲垣、近藤君のもとに新宿「ガコン」で開かれました。同窓会は進邦先生の「毎年開催しよう」との提案で2009年から1年を除き毎年行わ



れております。続いているということは大変喜ばしいことだと思います。私は喉頭がんで今では人工声帯ですので幹事はできませんが、当初、柿谷、石川で始めました。進邦先生は84歳ですがまだ大変元気で毎日のように散歩で体を鍛えているそうです。そして、趣味の旅行は外国に21回、国内は3県を除いて旅行したそうです。顔は並ぶと我々と同い年のようにしか見えません。そうそう、奥様も元氣とのことで今年、エメラルド婚を祝ったそうです。

さて、今年の出席者は11人で稲垣君を除いてそれぞれが異状があるとか奥様の看病をしているとかでした。来年(2019年)も11月頃に開催する予定です。今年、出られなかった方は来年は今から手帳に記入してください。今度の幹事は柿谷、稲垣君に決まりましたので古希の祝いを兼ねて是非出席してください。

(石川 勲 hohizm008@ybb.ne.jp)

昭和47年卒 大澤組クラス会 65歳の節目に大騒ぎ

ここ数年、毎年開かれています。今回は平成30年11月17日、4年ぶりに大澤英夫先



生にもご出席いただき、先生の地元・網島の開催となりました。はじめに、この一年の間に亡くなったクラスメイト一名と今春亡くなられた先生の奥様に黙祷を捧げた後、各

人が近況を紹介しながら歓談のひとときを過ごしました。ちょうど65歳の節目を迎えており、定年の話、年金の話、持病の話、親や家族の介護の話など、なかなか面白い話題が少なくない感じなのですが、実際はそんなことなど笑い飛ばしてしまおうバイタリティー溢れる会話が響きまわって、いつもながらの大騒ぎ。あつという間の3時間が過ぎました。4年後には卒業50年を迎えます。その時の海原会への出席を目指して、今後も毎年クラス会を開催していく予定です。(志田忠弘)

昭和50年中学卒 3組クラス会 四谷三丁目で開催

2月3日に中学3組のクラス会を四谷三丁目の東京ガス四谷クラブで行いました。青木君、小高くんが段取りしてくれ、楽しいひとときを過ごすことができました。

(昭和53年卒 平野 喜之)

昭和61年卒 関先生を囲む会 ぶぐのビレ酒飲み放題

毎年恒例の関先生を囲む会を高田馬場割烹桂にて開催しました。中学からの仲間たちと飲むお酒は格別です。この日のメンバーは普段からも仲良しで僕の歯科医院に治療に来る度飲むのですが、全員集まる事はまれ。この日は関先生の大好きなフグのコースでビレ酒飲み放題プランという事もありお酒がすすみ、そのノリで二次会は歌舞伎町のカラオケ屋に繰り出し深夜まで楽しい時間を過ごしました。新年会はゴルフと宴会を企画していますので参加可能な方は新保までご連絡ください。(新保城)



昭和62年卒 同期会

父の面影求め子息が参加

3月17日(日)、新大久保駅前鳥島商店におきまして、昭和62年卒の同期会が行われました。

21名の参加。少し寂しいが今年度は50才という節目の年。気づけば400名を超える同期の20名ほどが鬼籍に入りました。そんな中、海城時代の父の様子を聞きたいと一昨年に亡くなった3組の小林文明くんのご長男(新成人!)が参加。我々も文明くんを偲ぶとともに、いつも以上に海城時代に思いをはせました。

「えーそんなこととしてたんですか?」海城時代から体調思わしくなかった文明くんですが、我々は特別扱いなど考えず過ごしました。剣道も体育も修学旅行も。彼も頑張ったのかもしれないけど、そもそも海城はそういう懐の深さのある学校だった、と今ならわかります。

我々の思い出話に父の面影を重ねる。そんな彼と酌み交わす酒は、ほろ苦くも甘い。過ぎ去りし宝物を感じた夜でした。

(国井信男)



昭和63年卒 同窓会

卒業30年初の合同同窓会

昭和63年卒・各組合同の卒業30周年を記念した同窓会を平成30年12月2日に海城カフテリアにて開催いたしました。

卒業生360名と中学から他校へ転向した学友や途中退学した友を交え、卒業30年にして初めての合同同窓会をに92名の同窓が集いました。

これまで、各クラスやクラブ単位の同窓会、また飲食店を経営する同窓生のお店に集ったり、故人となった仲間を偲ぶ会など、個々には細々と集っていましたが、学年全体での集いは10周年、20周年をスルーし今回が卒業以来初めての試みとなりました。特に、最



近のSNSの発展により、30年来音信のなかった同窓とも連絡をとるのが容易となったなど社会環境の変化も中年となった我々が集うことを可能にしたのだと思います。

会には当時7組の鈴木元明先生、海原会同窓会事務局の国井先輩にもご列席を賜りました。会が進み会話が弾むにつれ、当時の海城祭の貴重な映像を鑑賞しながら、参加者の心はバブル真ん中の30年前、80年代の勢いのままの海城高校生に戻っていました。また、惜しくもご逝去された坂田君、角田君、戸塚君、高橋君、一宮君に想いを馳せながら、散会しました。その後も、真屋さんの経営する目黒のワインバー・ヴァンソーブル(海原会報「海腹グルメ」にも掲載されました)に集結し、日付変更線を超えるまで昔話に花を咲かせました。40周年同窓会は更なる同窓の集結を目指してまいりたいと思います。長きにわたり対応いただいた各組の幹事さま、誠にありがとうございました。

(常山修治)

平成10年卒 同窓会

卒業20周年の同窓会

平成31年3月2日(土)に、「卒業20年同窓会」を母校カフテリアで開催しました。

当日は学年主任だった目良先生をはじめ学年の先生方にもご参加いただき、総勢70名の卒業生が10年振りに再会しました。今年で御年92歳になる売店のアイドルおばばも駆けつけてくれ、ひとり一人にお菓子のプレゼントを頂きました。会場のあちこちでおばばと写真撮影・握手する様子が見られアイドル健在でした。また、学年補佐だった進邦先生、長島先生からもメッセージを頂き懐かしさとともに身が引き締まりました。そろそろ、名札がないとわからないほど貴族がついてきているメンバーもあり、次回は準備しようと思います。カフテリア

平成20年卒 同窓会



アがお開きとなった後は、クラス、友人同士各々新大久保の街などで旧交を温めていたようです。

(鷲尾洋二)

平成20年卒 同窓会

卒業10年記念同窓会

平成30年12月29日に卒業10年記念同窓会を開催いたしました。28・29歳ともなると仕事もプライベートもステージが変わるタイミングのようで、参加人数はやや少なめの41名。当時担任していただいた先生方3名もご参加いただき、楽しい会になりました。最初は小さく固まっていたグループも会が進むにつれて溶け合い、約半数のメンバーがそのまま2次会場へ「結婚しました!」「今日は青森から来ました!」

平成27年卒 同期会

社会人となる前に



「出合い系アプリで出会えませんか!」などの近況発表大会からの乾杯ラッシュが続きました。見事に10年前の男子校ノリが再現されていました。なかなか年末は参加できない、という声もあるようなので次回はお盆あたりに開催できるように同窓会実行委員メンバーで構想中です。

「2008年卒海城同窓会」のface bookページや同窓会用メールアドレス(kajo.2008gra@gmail.com)もごいますので、連絡が届かない方は是非こちらまでご連絡ください。

(津村大樹)

平成27年卒 同期会

社会人となる前に

この度、卒業から4年を経て、成人式以来の同期会を開催しました。「ストレート」ならこの4月から社会人ということで、全員が

集まりやすい最後の機会というタイミングでした。

幹事(実長・横田陸、生徒会長・菅野泰史)の想定を超えて280名の同期のうち70名も集まり、盛り上がる事ができました。最後には校歌を熱唱して終わりました。今後は段々と生活拠点や時間がバラバラになっていき会いつらいかもしれませんが、時々開催できたらと思っています。

(菅野泰史)



地域海原会

湘南海原会

地域世代超えた集まりに

平成30年11月29日、茅ヶ崎駅ビル、ラスカ6階の「快飛」で恒例の第46回湘南海原会の例会を行いました。当初7名の参加予定でしたが当日になり急遽5名の参加とな



りました。昭和20年、26年卒業の大先輩に我々37年卒業の若輩(と言っても75歳ですが)3名の参加で始まりました。海原会会長の徳光和夫先輩も参加予定でしたが急遽予定が入り不参加となりました。いっ

もながら大先輩のお話からな

んと旧国鉄の列車無線の開発秘話とか、父君である歌人の歌碑が全国に10カ所以上建立されている話とかが披露されました。37年卒との世代のギャップを感じさせない話に二時間半もあつたという間に過ぎ、恒例の会旗を中にして記念撮影を行い、年2回開催のうちの今回は新元号元年の5月23日の再会を約して散会しました。名称は湘南海原会ですが、いわゆる湘南地方にこだわらずに広く地域を拡大して世代の関わり合い参加をお待ちしております。生シラスを始め海鮮料理を中心とするコース料理も美味しく、それに会そのものが面白いですよ。

(昭和37年卒 佐藤誠二)

分科会報告

士業医業メディア・海志

分科会合同新年会

1月19日(土)に業種別海原会4団体の合同新年会を開催しました。4団体とは海

原士業会(弁護士・税理士・公認会計士...)、海原医業会(医師・歯科医師・病院経営...)、海原メディア会(マスコミ・芸能・著述...)、海志会(政界・官僚...)です。今年は海城学園のカフェテリアで開催ということで久しぶりの母校訪問を楽しみにしているメンバーも多く、参加人数は去年を上回る約60名でした。「業種別の「入会」という性格上、名刺交換があちこちで見られ、異業種交流の様子を呈していますが、医師、弁護士といった看板を背負った同期が修学旅行のときのガイドさんの話をしていたり、70代と30代が同じ先生の物真似をして競い合ったり、同窓会の顔もばっちりあります。

最後はメディア会にしてラグビー部創設メンバーの鈴木莊介さん(昭41)の首頭で校歌斉唱。お開きとなりました。

(広報委員会)



OB会だより

野球部OB会

今年度 新体制スタート

1月14日(月)高校野球部OB会毎年恒例の新年総会が開催されました。午前中はグラウンドにてソフトボール大会が行われ、保護者・OB30余名が汗を流しました。新年早々に開催するようになって6回目となりますが、悪天候による中止は一度もなく、今年も青空の下、活気に満ちたプレーでグラウンドが沸き返っていました。

午後は、カフェテリアに場所を移しての新年総会。開会に先立ち、昨年11月に逝去されたOB新井隆之さんに哀悼の意を表し、黙祷を捧げました。新井先輩は昭和52年卒と八田会長と同期にあたり、ともに二遊間を守った間柄でもありました。冒頭の会長挨拶からも、現役時代から最近にいたるまで、新井先輩の存在が海城高校野球部にとつて大変大きいものであったことを伺い知ることができました。休みの日になると、何事にも優先して現役の指導に尽力され、OB会の中でも若手にも気さくに声をかけて場を和ませてくださいました。世代を問わず、多くのOBがその薫陶を受けてきたことでしょう。会堂。



それに伴い、OB会の役員にも新たなメンバーが加わるなど、新体制としてスタートを切ることであります。総勢700名近いOBをかかえる野球部としては、総会をはじめとするイベントへの参加者をなかなか集めきれない状況ではありますが、奇しくも平成が終わり新しい時代がスタートする折の組織変更となりましたので、現役支援により一層注力し、1試合でも多く、海城野球部の勇姿をグラウンドで見られるよう、努めてゆく所存であります。

(平成9年卒 宇野晋)

鉄道研究会OB会

創部50周年記念号 会津鉄道

去る早春の3月23日(土)、会津盆地を鉄道研究会創部50周年記念号が駆け抜けました。

鉄道研究会は1968年に創部。2019年度で創部50周年を迎えることができました。これまで、周年行事として関東近辺の

地方私鉄の貸切を行ってきました。

1998年度 30周年 都営交通局都電荒川線／2008年度 40周年 上毛電気鉄道／2013年度 45周年 伊豆急行／2016年度 長野電鉄／そして2019年度。

実は今回、OB会の主力学年の兼ね合いで貸切見送りを考えていました。しかし、なんと現役生の申し出があり、現役生の貸切にOBが有志で参加するという立て付けに開催することができました。

毎回感じますが、鉄道という一つの趣味を通して、出身中高の、上は55歳から下は中学生まで集えること、海城学園出身者として本当にありがたく思います。

最後になりましたが、鉄道研究会の現役生の皆さま（特に提案して下さった部長の大倉くん）引率の井口先生・岡部先生、東京からはるばる3時間、参加してくださったOBの皆さま、会津鉄道の皆さま、皆さまのご協力あつての楽しい50周年記念でした。

次は55周年か60周年か、またご報告ができることを楽しみにしております。

（平成15年卒 間多洋彰）



文実生徒会OB会

新年会 今年のイベントを企画

1月3日に毎年恒例の文化祭実行委員会・生徒会OBの新年会が開催されました。OB会の活動自体、参加した当初は私が最年少でしたが、近年は平成20年以降に卒業した若手達が主導で文化祭の出し物や各種イベントの開催を企画しております。今年の新年会では下は大学生から上は40代まで、幅広い層のOBが集まりました。OB会としての昨年度の活動報告に始まり、今年度の活動予定や個人的な将来相談まで、世代間の層の厚さを生かした実りのある新年会となりました。昨年の文化祭からスタートしたOBによる相談会ですが、受験生の親御様から在校生の保護者の方まで、高い評価をいただいております。今年も何らかの形で実施し、母校に貢献していきたいと思っています。



（平成22年卒 古木 稔）

海外海原会だより

バンコク海原会

徳光会長も特別参加の新年会

1月8日（火）、バンコク海原会の新年会が行われました。たまたま徳光会長がバンコクを訪れていたタイミングでもあり、昼は徳光会長他有志で郊外のニカンテイゴルフクラブ



でラウンド。夜は市内ドンロー地区にあるの食堂「まる」での会食という盛沢山のスケジュールでした。多くの日本人が駐在しているバンコクには駐在する海城OBも多く、バンコクから10名、日本から3名の計13名の会となりました。今回参加したバンコクのメンバーは昭和40年代〜平成10年代の卒業と幅広いのですが、習った先生、売店のおばちゃんなど共通の話題が多く、転勤などがない私立の良さを感じます。会のシメは校歌斉唱。周りの迷惑顧みず、店のお姉さんの失笑をもとめせずに、新大久保から遠く離れたバンコクでみんなで高らかに校歌を歌いあげたのでした。

（広報委員会）

ジャカルタ海原会 帰任者で新年会

ジャカルタからの帰任者が集まって2019年1月5日に中野区の拙宅にて新年会を行いました。ジャカルタ海原会の立ち上げは2015年、帰任者も徐々に増えて日本でもジャカルタの思い出を語れるようになりまし。皆様を持ち寄って頂いた限定美酒の数々、ちょっと良いA4肉のす



き焼きを堪能しながら、卒業アルバム片手に在学時の懐かしい話で盛り上がりました。アジアネタは詳細を記載できないので興味のある方は是非ご参加ください。今後も定期的に会合を企画しつつ、ジャカルタ海原会の発展に寄与したいと考えております。写真手前より反時計回りに（敬称略）、萩原（S50）、齋藤（H3）、近藤（S52）、服部（H5）、土橋（H5）、服部（H30）、国井（S62）。

（平成5年卒 服部康治）

ロサンゼルス海原会

忘年会で来年の抱負を語る

ロサンゼルス海原会の忘年会を12月14日開催いたしました。場所は玉栄（S41卒）先輩の長年のお付き合ひのある「勘ぱち」寿司で開きました。この「勘ぱち」は実は玉栄先輩が建築した、日本にいたりと鑑賞するような純日本建築の内装で座敷は今では日本でも少なくなっている書院造り。玉栄先輩は海城学園ロス分校を誘致したいと来年の抱負を熱く語ってくれました。大畑さん（H17卒）は昨年お子さんが生まれ、ご家族をお誘いしましたがあいにくお子様と奥様はご都合がつかず参加できません。現在アメリカの企業に勤め、日本の企業での勤務経験が短いので私の日本での銀行勤務の話を興味深く聞いてくれました。私は来年は年に最低一回は海原会を開催



したり、全米の海城学園卒業生の発掘に励みたいと思っています。日本と変わらないういしいお寿司をいただき皆さん満足して解散になりました。（昭和45年 富田稔之）写真：店のオーナーと

フンペン海原会 海城OB続々来訪

経済発展著しいカンボジア。在留邦人の人数も増え、日本との直行便も開設され、海城OBの来訪も増えてきました。去年10月には、カンボジアで広告事業を営む北野岳先輩（昭和55年卒）が、画家で海城125年記念誌のデザインを担当している富田勝彦先輩（昭和51年卒）とともにカンボジアに来訪。カンボジアでの作品展示やイベント参加なども検討されているようです。続く11月には、江尻俊章先輩（平成4年卒）が、ウェブマーケティングのセミナーの講師として来訪。仕事関係でカンボジアを訪問されるOBの皆様、是非！来訪前にご連絡ください。（平成5年卒 小市琢磨）写真：小市・富田さん・北野さん（左から）



合格おめでとう
ございます

国公立大学

	学部	総数	医	現役	医	卒業生	医
東京大学 合計 46 (現役31, 卒業生15)	文科一類	9		6		3	
	文科二類	6		4		2	
	文科三類	4		3		1	
	理科一類	15		10		5	
	理科二類	11		7		4	
京都大学 合計 15 (現役7, 卒業生8) 特色 3含む	理科三類	1		1		0	
	文	1		0		1	
	法	3		1		2	
	経済	3		3		0	
	教育	1		0		1	
	総合人間	1		1		0	
	理	0		0		0	
	工	5		1		4	
	医	0		0		0	
	薬	0		0		0	
一橋大学 合計 14 (現役9, 卒業生5) 推薦 1含む	農	1		1		0	
	法	3		2		1	
	経済	5		3		2	
	商	4		3		1	
	社会	2		1		1	
東京工業大学 合計 9 (現役6, 卒業生3) AO 1含む	理	2		2		0	
	工	2		0		2	
	物質理工	2		2		0	
	情報理工	2		1		1	
	生命理工	0		0		0	
	環境社会	1		1		0	
北海道大		9	1	7	1	2	
岩手大		1		1		0	
東北大		11	1	7	1	4	
秋田大		2	2	1	1	1	1
山形大		2	1	1	1	1	
筑波大		10	5	8	5	2	
群馬大		1	1	1	1	0	
埼玉大		2		2		0	
千葉大		11	4	3	2	8	2
東京海洋大		1		0		1	
電気通信大		3		1		2	
東京医歯大		4	3	4	3	0	
東京外大		2		2		0	
東京学芸大		2		1		1	
東京農工大		1		1		0	
横浜国立大		1		0		1	
新潟大		2	1	1		1	1
富山大		1		0		1	
金沢大		1	1	1	1	0	
山梨大		1	1	1	1	0	
信州大		3	2	3	2	0	
名古屋大		2		1		1	
大阪大		2		1		1	
神戸大		2		2		0	
徳島大		1	1	1	1	0	
熊本大		2	2	0		2	2
鹿児島大		1	1	0		1	1
琉球大		1		0		1	
国際教養大		1		0		1	
福島県立医大		2	2	1	1	1	1
首都大東京		2		2		0	
横浜国立大		2	2	2	2	0	
名古屋市立大		1		0		1	
防衛医科大学校		4	4	2	2	2	2
国公立大学・大学校総数		178	35	111	25	67	10

※「医」は医学部医学科の合格者数(東大理Ⅲは除く)

海外の大学

	総数	医	現役	医	卒業生	医
北京大	1	1	1	1	0	

新天地での活躍が楽しみです。
近年は、京都大学に限らず様々な大学から高校生向けのプログラムやセミナーの案内が多く来ています。海城生にはそれらをうまく活用してもらい、ぴったりにマッチした各々の進路を見つけてもらいたいと思います。

私立大学

	学部	総数	医	現役	医	卒業生	医
早稲田大学 合計 155 (現役116, 卒業生39) 推薦6, AO1含む	文	8		4		4	
	文化構想	10		10		0	
	法	19		13		6	
	政治経済	33		27		6	
	商	19		15		4	
	社会科学	6		5		1	
	教育	7		5		2	
	人間科学	5		4		1	
	国際教養	5		5		0	
	基幹理工	13		7		6	
	創造理工	12		9		3	
	先進理工	18		12		6	
	スポーツ	0		0		0	
慶應義塾大学 合計 125 (現役85, 卒業生40) 推薦1含む	文	5		3		2	
	法	10		6		4	
	総合政策	3		2		1	
	経済	22		15		7	
	商	29		22		7	
	理工	42		26		16	
	環境情報	0		0		0	
	医	7	7	7	7	0	
	薬	7		4		3	
東北医薬大		3	3	0		3	3
国際医療福祉大		5	5	3	3	2	2
自治医大		1	1	1	1	0	
獨協医大		3	3	3	3	0	
埼玉医大		1	1	0		1	1
獨協大		2		2		0	
日本工大		1		1		0	
明海大		1		0		1	
千葉工大		4		0		4	
青山学院大		8		6		2	
学習院大		3		1		2	
北里大		7	3	3	1	4	2
杏林大		7	6	5	5	2	1
工学院大		2		0		2	
国士館大学		1		1		0	
駒澤大		2		1		1	
芝浦工大		25		14		11	
順天堂大		19	19	17	17	2	2
上智大		15		8		7	
昭和和大		17	16	13	12	4	4
成蹊大		10		5		5	
成城大		3		3		0	
専修大		4		2		2	
玉川大		1		0		1	
中央大		55		29		26	
帝京大		3	2	0		3	2
東海大		5	5	1	1	4	4
東京医大		5	5	2	2	3	3
東京工科大		1		0		1	
東京慈恵会医大		17	17	16	16	1	1
東京電機大		7		2		5	
東京農大		5		1		4	
東京薬大		1		1		0	
東京理大		96		60		36	
東邦大		10	9	7	7	3	2
東洋大		1		0		1	
日本大		17	3	11	3	6	
日本医大		17	17	13	13	4	4
日本獣医生命科学大		1		1		0	
日本体育大		1		0		1	
法政大		14		5		9	
星薬大		2		2		0	
武蔵大		3		3		0	
東京都市大		3		2		1	
明治大		81		47		34	
明治学院大		3		0		3	
明治薬大		3		2		1	
明星大		3		3		0	
立教大		16		10		6	
神奈川工科大		1		0		1	
マリアンナ医大		2	2	1	1	1	1
同志社大		4		4		0	
立命館大		1		0		1	
大阪医大		1	1	0		1	1
関西医大		1	1	0		1	1
近畿大		2		1		2	1
産業医大		1	1	0		1	1
私立大学総数		808	128	513	92	295	36

今年3月の卒業生(30年度高3)の学年は、中学からの入学生のみとなつて6回目、帰国生入試3回目の卒業生です。卒業生は328名で、文系は3クラスで130名、理系は5クラスで198名でした。現役進学率は63・1%でした。近年、世間では志望に拘らず早

く進学を決める傾向が強いのですが、本校では再挑戦した多数の既卒生が第一志望に合格を果たしました。このことは今年の大きな特徴と言えます。捲土重来を期する卒業生には、多くの先人に続いて来春こそ合格を勝ち取ることでしょう。教職員一同、応援しています。

さて、来年で最後となるセンター試験、今年度は、国語・リスニングの平均点が高かった影響で、900点満点での得点率が8割(720点)を超える受験生が非

常に多く、高得点の争いとなり、ちょっとした取りこぼしもできない厳しい入試となりました。センターでの圧倒的な得点は合格への必要条件、そのことをより強く感じた今年の入試でした。

大学別の合格者数は別表の通りです。

医学部入試については、全国的に見れば国公立医学部の志願者数は2012年度入試をピークとして漸減

しています。特筆すべきは本校の私大医学部の合格者

および進学者が非常に多かったことです。合格者はのべで昨年の約2倍でした。また、私大の入学定員の厳格化の影響でしょうか、国公立後期日程の合格発表以降も3月末まで補欠合格の朗報が多く届きました。国公立と両方合格した場合、地方よりも首都圏に残る選択をするケースが多くなっています。私大医学部の学費減額の影響も大きいと思いますが、それだけではない気もします。

東京大学の合格者は46名(現役31名、既卒15名)、京都大学の合格者は15名(現役7名、既卒8名)。

京都大学の合格者数は過去最大でした。以前、京都大学の先生が講演で、試験に出ないものはやらない学生が増えていることを嘆かれていました。学びに向かう志や意欲が引き出されるためには、志望分野とのマッチングが欠かせないが、実際は偏差値の照合で大学・学部を選び、学部・学科に関心のないままに入学し、ミスマッチを起こす例が多い。それを減らす策の一つが特色入試という制度である、とのことでした。本校からの現役合格者のうち3名は特色入試での合格。い

ずれも個々の関心にマッチした進学が叶ったのだと思います。既卒組も志望を貫いて結果を出しました。これから独り暮らしも始まり遅く成長してくれることでしょう。

新天地での活躍が楽しみです。

近年は、京都大学に限らず様々な大学から高校生向けのプログラムやセミナーの案内が多く来ています。海城生にはそれらをうまく活用してもらい、ぴったりにマッチした各々の進路を見つけてもらいたいと思います。

昭和41年海城中学校卒の皆さま 海原総会で会いましょう

6月8日(土)の海原会総会への参加を呼び掛けています。
これまで20人程度の方から参加希望の返事をいただいております。ほとんどが初参加の人たちです。皆で集まりましょう。(千賀孝雄)

昭和37年卒『37(みな)の会』のお知らせ 海原総会で集まりましょう

海原会卒業50年の祝いの時には大貫先生始め50名と予想外の同期が集まりました。次は卒業60年の祝いですが80才になります。同期の大半が昨年後期高齢者となりましたが、早生まれの人は今年が後期高齢者です。

そこで今年は一つの節目として後期(高貴)高齢者の同期が集まろうとの希望もあり、是非総会にご参加を、お待ちしております。

※総会後「新大久保駅前の日本海庄や」で2次会(18:00より)を予定しています。

37年卒常任幹事 志村誠一、花島光男、鷺田和雄

★10連休の対応につきまして★ 掲示板

4月27日(土)~5月6日(月)のいわゆる10連休の期間は海原会の対応をお休みなします。また、留守番電話は録音時間に限りがあるため、期間中のお問い合わせは極力FAXかホームページをご利用ください。

なお、期間中にいただいたご連絡は5月11日(土)以降にお返事いたします。

★海城学園へのお電話はお控えください★

海原会の用件で海城学園にお電話される方がいますが、学校の事務の支障になりますので、海城学園へのお電話はお控えください。

海原会へのご連絡は

ホームページ <http://www.unabarakai.jp>

FAX 03(6233)9641

留守電 03(6233)9631

からお願いいたします。

なお、留守電を使う場合はゆっくりと明確にお願いします。留守電の音声の不鮮明ですと聞きとれずに、こちらから返答ができない場合がありますのでご注意ください。

【会報バックナンバー閲覧パスワード】

ホームページの活動レポートから会報のバックナンバーの閲覧ができます。閲覧にはパスワードを設定しております。ユーザー名はkaihouです。パスワードは2019年5月14日までは「21.U.100」2019年5月15日からは「huyoHo.1」になります。



ゴマ油の風味と胡椒の辛みがガツン！でビールが進む中華風ガツ。肉の塊に見える肉巻トマト。かじれば口に広がるトマトの甘さよ！王道の串焼、意外性のアボカドぬか漬け。美味しくて楽しい料理がずらりと並ぶ。また、小俣さんの自薦か

七福 渋谷区富ヶ谷1-3-13
※隣り合わせのビルに店が2つあります。
TEL 03(3469)4989
営業時間 17:00~翌1:00
定休 日曜・祝日
(国井信男 記)

編集担当
山本満男 (S27)
森山昭洋 (S41)
小西洋也 (S41)
国井信男 (S62)
岡本浩太郎 (H02)
高橋有仁 (H05)

店の自慢料理は？と尋ねると、パッと10品以上の料理の名が挙がった。いずれも酒のつまみにぴったりだ。

高校卒業後は自動車整備学校を経て日産へ。30才の時に脱サラして開いたお店が七福だ。以来、気づけば約50年で隣り合わせのビルに2店舗。駅に近いビルの2階にある店は長男、その隣のビルの1階にある店は次男が厨房を任されている。



現在、小俣さんは国士館高校野球部OBの重鎮となっている。今回の取材も選抜出場を果たした国士館高校野球部のOBとして

多忙の中で受けていただいた。小俣さんがスカウトされず海城にいたら、我が海城は甲子園に近づいたのだろうか？そんなことをふと思った。

★特典★

初回に限り、令和元年5月1日~6月30日までの来店時に「会報見たよ」の合言葉で、乾杯ビール1杯サービス。

七福

渋谷区富ヶ谷1-3-13

七福

居酒屋・串焼・焼鳥

海腹グルメ ⑫ 渋谷区富ヶ谷

自薦他薦、海城OBのお店情報を
お寄せください。

らは漏れたが、焼きビーフンがすごかった。うま味シシミで野菜たっぷり。もう一件行こうと思わなくなるほどの存在感で食事をシメる。



店の料理、全部食べてみたい！何度も通ってコソコソ制覇するか？仲間とワイワイやりながら一気に注文するか？そんなことを考えていたら、「あれー？何やってるの？」との声。小俣さんの同期が来店された。聞けば、お店には昭和34年卒が良く訪れるらしい。

編集後記

◎「改元されたことで、現在の高3は令和2年卒となる。大正も昭和も2年卒から始まっている。元年卒というのは平成だけと気づいた。(国井) ◎平成の初め頃、総会に見えた年配のOBが「新大久保駅も戸山小脇の坂も戦時中と変わらないうと言った。駅舎工事の今、変わらずにあった面影が消えてしまった。生のは貴重に思えます。(高橋)

◎令和元年発行の会報です。平成卒としてはやや寂しいですが、新時代も海原会と海城の発展と進化をお伝えします。(岡本)

◎大連休を控え早めに編集会議をスタート。編集長の見事な采配で予定通りに作業を完了。今号は海原会賞を一面に取り上げ生徒を前面に。なかなかの出来栄になりました。相も変わらずいつていくのに精いっぱいの小生でした。(森山)

◎裏話、今まで何人か取材させて頂きましたが、その内の一人「俺を取り上げるな。絶対ヤダ！それよりアイツを取り上げる。」と仲間の一人を紹介してくれた。この熱き友情参りました。(山本)

◎にわか和歌ブームに愚乗して一首見つけた。卒業生、新社会人にエールを。「深山木のその梢とは見えざりし桜は花に現れにけり」(小西)

※海原会は皆様の会費で運営されております。